

営農ウィークリーNEWS

京都乙訓茄子立毛品評会で和田さんが府知事賞



圃場での審査風景

令和4年8月5日、京都乙訓地域のナスの立毛品評会が行われました。JA京都中央管内からは、大原野、羽束師、向日市、長岡京市各地区の上位入賞7圃場と、JA京都市から2圃場が出品されました。審査には、京都乙訓農業改良普及センター、各行政担当者、JA担当者が当たりました。6月の高温乾燥のあと7月の戻り梅雨、その後の高温と害虫の発生が多い状況で管理にはたいへん苦勞の多い年でしたが、各圃場とも管理が行き届いており順調な生育でした。生育状況、圃場の管理状況、病害虫の発生状況、創意工夫などに基づく審査の結果、1位に和田毅氏（向日）、2位が福田滋生氏（JA京都市）、3位が中尾一浩氏（JA京都市）となりました。入賞された皆様おめでとうございます。



京都府知事賞の和田毅氏圃場



中央会長賞の福田滋生氏圃場

—TAC information—

受賞者の皆様 おめでとうございます



令和4年度京都乙訓地域茄子立毛品評会結果

京都府知事賞 和田 毅 様（向日支店）
京都府農業協同組合中央会長賞 福田滋生 様（JA京都市）
全国農業協同組合京都府本部長賞 中尾一浩 様（JA京都市）
京都府信用農業協同組合連合会長賞 岡田英次 様（羽束師支店）
全国共済農業協同組合連合会京都府本部長賞 小山保博 様（乙訓支店）

水稻・カメムシ類の防除を行ってください！

近年、カメムシ類による斑点米が多発し、品質を低下させています。JA管内では、斑点米の大きな原因となるミナミアオカメムシが多く見られています。

今年はさらに、イネカメムシが各地で発生しています。このカメムシは、斑点米を発生させるだけでなく、穂が出始めるとすぐ侵入して、籾の基部や莖を吸汁し、籾や穂全体が不稔（白穂）となり減収につながります。**発生を確認した圃場は、直ちに防除が必要です（下図参照）。**

カメムシ類の多くは、ほ場周辺の雑草管理を徹底することが発生の低減につながります。畦畔などのイネ科雑草で増殖するため、**出穂の2週間前までに水田周辺の除草を徹底して行うことが重要です。**その後、収穫時までには除草作業を控え、水田への侵入を防ぐことも大切です。

晩生品種「ヒノヒカリ」の場合



イネカメムシ



ミナミアオカメムシ

